



残されたものを最大限生かす

校長 矢崎 真理

昨年度、緊急事態宣言によって突然の休校措置となり、約3か月にわたって通常の学校生活を送ることができなかった経験をしましたが、昨年以上の想定外の大変な状況になっていて、夏休み後休校措置3日間、9月1日からは2グループによる分散登校を余儀なくされ、とにかく密を避けるための対応を、当面13日（月）まで続けることになりました。

今、ほとんどの感染者がかかっているデルタ株の特徴は、これまでのコロナウイルスとは全く違い、ウイルスの排出量は1200倍、感染力は従来株の2倍、インフルエンザの3倍と言われています。全ての世代に感染することから、10歳未満の子どもたちにも感染拡大し、そのお世話をしなければならない保護者へうつり、家庭内全員が感染してしまうという状況が多くなっていることです。ニュースにもなっていますが、重症化した方が希望通りに入院できずに、命を落とすケースもあるという状況です。いったい、日本はどうなってしまったのかと思うことが続いています。

本来の学校は、子どもたち同士が仲良く交流し、人と人が密にコミュニケーションをとることによって学び、成長を促している場であるのに、それが感染症を広げることに繋がってしまうからと注意し、できるだけ離れるようにと指導しなければならないことに、無念の思いでいます。

それぞれのご家庭のご事情はあるとは思いますが、横浜市内で感染力のとても強いウイルス感染が爆発的に広がっている状況ですので、お子さんの健康観察を確実に行っていただき、軽い風邪症状（発熱・のどの痛み・咳・頭痛・腹痛・息苦しさ・顔色が悪い・食欲不振 など）であっても登校を控え、かかりつけの医療機関に受診してくださるよう、ぜひともお願いいたします。

学校では子どもたちの安全・安心な教育活動を行うために横浜市のガイドラインに基づき、感染予防のための取組を徹底していきます。特に、マスクの着用（教育委員会からは不織布マスクが推奨されています）、手洗い、換気、消毒、密にならないことをますますしっかりと取り組んでいきます。ご家庭でもそれぞれのお子さんに、守るべき大切なこととして、改めてお話いただければと思います。

今年もいろいろなことを我慢する夏でした。私は、家でオリンピックのテレビ観戦を続けました。開催についてはさまざまな意見がありましたが、選手のがんばる姿、開催されるかどうかの不安と戦いながら努力を続けて取り組んでいたことを各競技で目の当たりにして、メダルを取ったかどうかにかかわらず、感動の場面にたくさん出会いました。今は、パラリンピックが行われていて、陸上競技、水泳、車椅子ラグビー、ブラインドサッカー、車椅子バスケット、ゴールボールなどの競技を見て、さまざまな障害があっても「失ったものを数えるな、残されたものを最大限に生かせ。」という「パラリンピックの父」と呼ばれるルートビヒ・グトマン医師の理念を受け継いで表現している選手の姿に、驚きと尊敬の気持ちが生まれています。

岸谷小学校も、「できることを最大限取り組もうとしている」この2年間の目標・取組は、相通じるものがあると思います。

全校の子どもたち、教職員、ご家庭の皆様で「自分のできることを地道に誠実にやること」に取り組む、辛抱することを、まだまだ当分の間続けていくことを頑張っていきたいと思っています。ご理解の上、ご協力をお願いいたします。

学校保健委員会



7月7日（水）に、各クラスの代表児童が参加し、第1回学校保健委員会を開催しました。司会や初めの言葉・終わりの言葉などを、保健委員会の児童が担当し、充実した学校保健委員会となりました。

今年度の学校保健委員会のテーマは、「運動してコロナウイルス感染症に負けない丈夫な体をつくろう」というテーマで取り組むことになり、各クラスの代表が、クラスの今年度の取組を発表しました。また、保健委員会からは、運動が私たちの心と体にどのような影響があるのかを説明してもらいました。今年度も、学校生活を生き生きと過ごせるよう、学校の中で取り組んでいきます。ご家庭でも、お子さまの衛生面をご支援いただければ幸いです。

第3回代表委員会



7月14日（水）の代表委員会では、コロナ渦でも心をひとつに、運動会を盛り上げるためのスローガンについて話し合いました。「1年生にも分かりやすく」「今年らしい言葉で」「協力の要素も取り入れるには」など、提案理由に沿ってたくさんの意見が交わされました。決定した「みんなが全力つくし、楽しめる運動会にしよう！～はなれていても心はノーディスタンス☆～」というスローガンをもとに、運動会を盛り上げていきます。

水泳学習が終わりました



水泳学習のボランティアに来ていただいた保護者の皆様、ありがとうございました。無事に安全に学習を行えたことを嬉しく思います。

尚、夏休み明けの水泳学習については、新型コロナウイルス感染症対策の為、学年単位の学習ができないので、中止となりました。今後とも教育活動へのご協力をよろしくお願いいたします。

各学年の様子



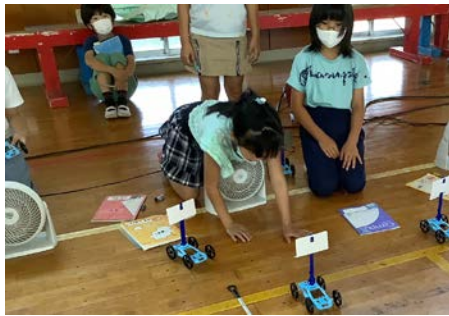
【1年】YICA 楽しく英語を覚えよう

子どもたちはYICAの時間をいつも楽しみにしています。これまでにあいさつ、色、動物、顔や体の部分について、英語でどのように言うかを学習してきました。英語の歌を歌ったり、絵本を見たり、体を動かすゲームをしたりして、楽しく活動することができました。中でも、顔の部分の学習をしたときの福笑いは大盛り上がりでした。楽しみながら英語に慣れ親しむことができました。



【2年】GIGA 開き

「いつiPadを使えるようになるのかな。」とワクワクしていたみんなも、いよいよiPadを手にしてGIGA開きを行いました。初回から、ルールをしっかりと守って大切に扱おうとする姿勢が見られました。慣れないアルファベットや記号に戸惑う様子もありましたが、周りの助けを得ながら一生懸命使いこなそうとしていました。これからもiPadに触れながら学んでいけるといいですね。



【3年】見えない力が見えてくる！？

理科で「風とゴムの力のはたらき」の学習をしました。風とゴムにはどんな力があるのかを調べるために、車を使って実験を行いました。目に見えない力の違いを比べるために、条件を変えて実験→結果の記録→結果からわかることをまとめる、という流れに沿って学習を進めました。普段から「なぜ？どうして？」と不思議を探しながら過ごすのが楽しいですね。



【4年】待ちに待った、愛川体験学習！

7月19日(月)の愛川体験学習では、キャンプファイヤーをはじめ、自然観察やダム湖の見学、藍染めなどを体験しました。体験を通して友達と交流を深めたり、社会や理科の学習をふり返ったりすることができました。この体験学習で意識したことを、夏休み明けの学校生活にも生かしてほしいと思います。



【5年】間引きをしました！

田んぼの稲は、順調に成長しています。7月の算数では、田んぼの混み具合について考えました。おいしいお米を育てるために、混んでいるエリアから間引かないといけない、という問題から算数の単位量当たりの大きさを学習しながら、間引く株の数を求めました。しっかりと張った根を丁寧に扱い、上手に間引くことができました。これからの稲の成長も楽しみです！



【6年】違うから、楽しい(国際理解教室)

今年は、マレーシアの文化について学んでいます。今回は「食文化」がテーマ。中でも、大盛り上がりしたのは、「テ・タレ」というマレーシアのミルクティー作り体験。1mもの高さからコップをめがけて注ぎ入れるのは、至難の業。見事コップに命中しても歓声。外しても歓声。大興奮の一時間でした。



【5組】にじいろパーティー(お誕生日会)

4、5、6月に誕生日を迎えた友達をお祝いするためのお楽しみ会を開きました。約1ヶ月間かけて、お手紙やプレゼントの作成をしました。また、司会や始めの言葉、終わりの言葉、クイズ係、遊び係、プログラム作り、飾り作り、プレゼント渡し係など自分たちで役割分担を行い、練習や準備をしてきた成果を十分に発揮することができました。

学校カウンセラー 教育相談のご案内

学校カウンセラーの徳永先生による教育相談を実施しております。相談を希望される方は、担当前田までご連絡ください。8月の教育相談の予定はございません。ご了承ください。

9月 3日(金) PM 16日(木) PM
17日(金) AM 30日(木) PM

マスク着用について

新型コロナウイルス感染症対策として、自分の顔の形に合うマスクを正しく着用するよう指導しております。なお、ウレタンや布製よりも不織布の方が飛沫拡散・防止効果が高いとの研究結果がありますので、教育委員会のガイドラインでは、学校内では不織布マスクを使用することを推奨しております。